Panasonic

取付説明書

地上デジタルテレビ用フィルムアンテナ

品番：**CA-PDTNF4D**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書およびカーナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種：（2011年 6月現在）
- ポータブルカーナビゲーション
  CN-GP600FVD/GPA600FVD/SP605FVL
  CN-GP700FVD/SP707FVL
  ※詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

内容物の確認

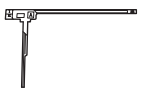
万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

取付説明書［本書］

（1 部）

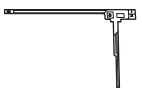
地上デジタルテレビ用フィルムアンテナおよび取付部品一式

エレメント A



（1 枚）

エレメント B



（1 枚）

クランパー

（6 個）

エレメントケーブル(A)

4.9 m（1 本）

エレメントケーブル(B)

4.9 m（1 本）

クリーナー

（1 枚）

※本書に記載の寸法、質量はおおよその数値です。
※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
※本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

作業が困難な場合は、本機または車をお買い上げの販売店や最寄りのカーディーラーにお問い合わせください。（作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。）

品名	地上デジタルテレビ用フィルムアンテナ
電源電圧	DC8 V
消費電力	40 mA以下
利得	470 MHz：14.5 dB ± 2 dB
	770 MHz：11.5 dB ± 2 dB
周波数範囲	170～770 MHz
受信チャンネル	UHF（13 ch～62 ch）
出力インピーダンス	50 Ω×2
貼り付け場所	フロントガラス（車内側）
質量	101 g（フィルムアンテナ一式）

パナソニック株式会社
オートモーティブシステムズ社
〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地
お客様ご相談センター
- フリーダイヤル　0120-50-8729
  受付 9:00～18:30/365日
  ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
  ■上記電話番号がご利用いただけない場合 **0857-30-4578**
  ※通話料は、お客様のご負担となります。
- FAX※　045-938-1573
  受付 9:00～18:30（土・日・祝日・当社休日を除く）
  ※通信料は、お客様のご負担となります。

© Panasonic Corporation 2011

Printed in Japan　　2RR6P12A84500　　S0511-0

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

分解禁止

分解・修理、および改造をしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。
火災や感電、事故の原因になります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線等に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

運転や視界を妨げる場所には、絶対に取り付けない
前方・後方の視界を妨げる場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

クランパーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
あやまって、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

⚠ 警告

指定に従って配線・取り付けをする
説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

フィルムアンテナは、取付許容範囲内に貼り付ける
保安基準に適合するように、指定に従って貼り付けてください。
視界不良による交通事故の原因になります。

⚠ 注意

コードを破損しない
傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。
- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

車載用以外には使用しない
車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する
配線・取り付け/ 取り外しには、専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける
取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。
ときどき接着や取り付けの状態を点検してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

フィルムアンテナを貼り付ける前に

- **貼り付け・配線をするためには、フロントガラス周りの内装を一時的に取り外す場合がありますので、ご了承ください。**
- **車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。**
  - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
  - ピラーにフロントエアバッグを搭載している車には、取り付けることができません。お買い上げの販売店もしくはカーディーラーへご相談ください。
- **必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。**
  - 車検適合させるために、地上デジタルテレビ用フィルムアンテナについて の「**■貼付許容範囲について**」および本書の取付方法をよくお読みの上、正しく取り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
  - 本商品はフロントガラス専用です。それ以外の場所(リアガラスなど)に貼り付けると、受信感度が低下します。
- アンテナの表面保護用ビニールをはがした後、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

必ずケーブルおよびエレメントを仮止めし、ケーブルの引き回し等を十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、貼り直しできません。

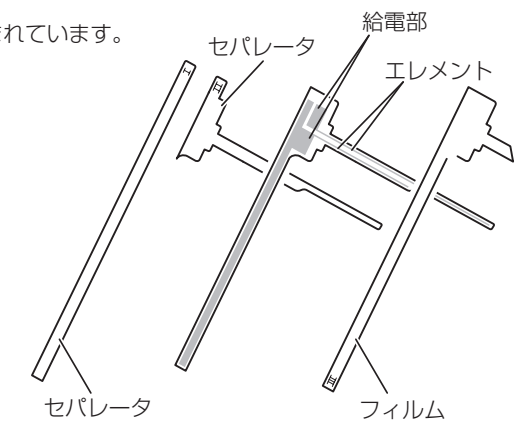
■ 取り扱い上の注意点

- アンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。
  断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- はくり紙やフィルムをはがしたあとは、貼り付け面に手をふれないでください。
  エレメントの透明シート、クランパーのはくり紙をはがしたあとは手をふれないでください。
  また、長時間の放置はしないでください。
- エレメントのフィルムや給電端子のはくり紙をはがしたあとは、給電部などに手をふれないでください。
- 貼り付けた後、ガラスを拭くなどするときは、エレメントに気を付けて作業してください。また、シールやステッカーはがし剤を使用しないでください。

地上デジタルテレビ用フィルムアンテナについて

地上デジタルテレビ用フィルムアンテナの構成

フィルムとセパレーターの間にエレメントが挟まれています。
エレメントの広い部分が給電部です。

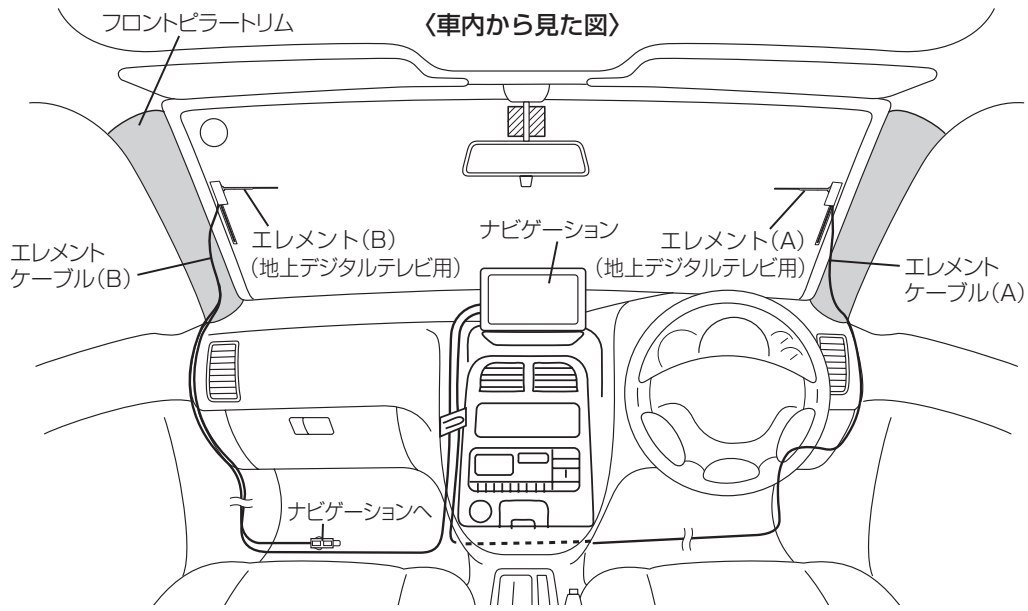


貼付位置について

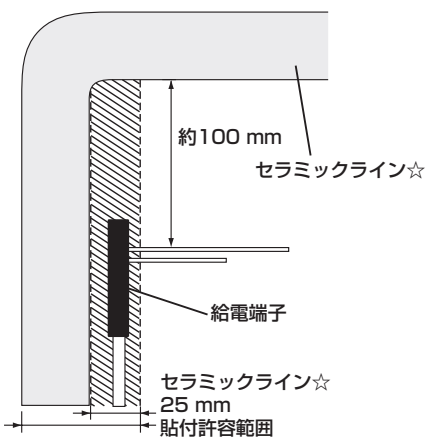
- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず右記の位置に貼り付けてください。
- フロントガラス上側のセラミックライン下側より約100 mm離れた位置に貼り付けてください。
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナから地上デジタルテレビ用フィルムアンテナを100 mm以上(下記**〈車内から見た図〉**参照)離して貼り付けてください。
- エレメントは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- エレメントは、フロントガラスの車内側に貼り付けてください。
  それ以外の場所には貼り付けないでください。
- フロントガラスに、すでに他のフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
  (指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)

給電端子部は、貼付許容範囲内のフロントピラートリムと干渉しない位置に取り付けてください。

取り付け完成概略図

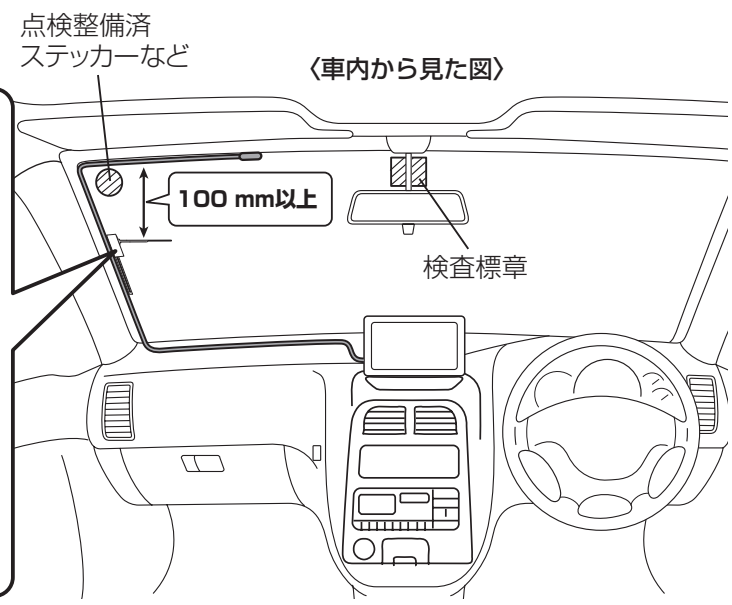


■貼付許容範囲について(地上デジタルテレビ用フィルムアンテナ)



給電端子は、必ず貼付許容範囲内
(セラミックライン上または ▨ 部)に
貼り付けてください。
貼付許容範囲外に貼り付けると、
車検に不適合となります。
※道路運送車輌の保安基準　第29条(窓ガラス)、
細目告示第195 条および別添37

☆印…フロントガラス端の黒い部分、および
黒いドット(点々のこと)部分



地上デジタルテレビ用フィルムアンテナを取り付ける

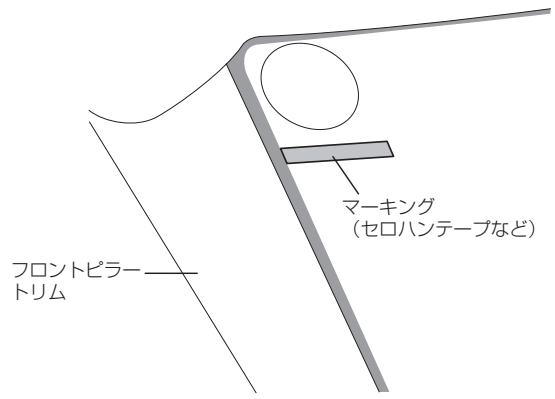
配線をする前に

作業中は車のキースイッチを「OFF」にしてください。
※下記の取り付け手順とイラストはフロントガラスの左側に取り付ける場合を記載しています。フロントガラスの右側に付ける際は対称になります。
右側を取り付ける場合も同様に手順**1**から作業を行ってください。

1 貼付位置について (表面参照)をよく読んで貼り付け位置を決める

(1) 位置決めのためのマーキング用テープを貼り付ける。

- エレメントの取り付け作業は、左側を表しています。
  (エレメントに B の記載あり)
- 位置決めのためのマーキング用テープは車外側のフロントガラスに貼り付けてください。



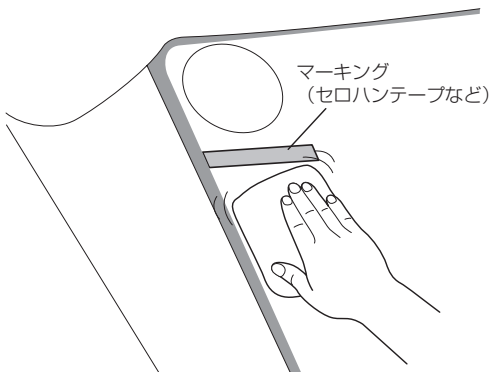
2 エレメントを貼り付ける

エレメント貼り付けについてご注意

- エレメント貼り付け後3時間以内は貼り付けたエレメントにガラスクリーナー等を吹きつけたり、エレメントの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エレメント上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、エレメントに傷が付かないよう注意してください。

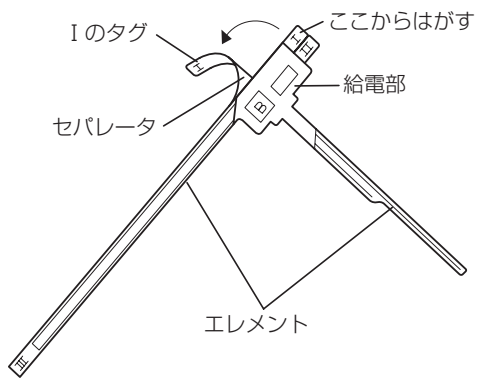
(1) フロントガラスの汚れ (ゴミ・油など) やくもり止めを付属のクリーナーで拭き取る。

- クリーナーできれいに拭き取りフロントガラスは乾いた状態にしてください。
  ※フロントガラスが乾かないうちは貼り付けないでください。エレメントがフロントガラスに貼り付かなくなります。
- 冬場などは車内ヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。
  ※作業中は、車のキースイッチをOFFにしてください。



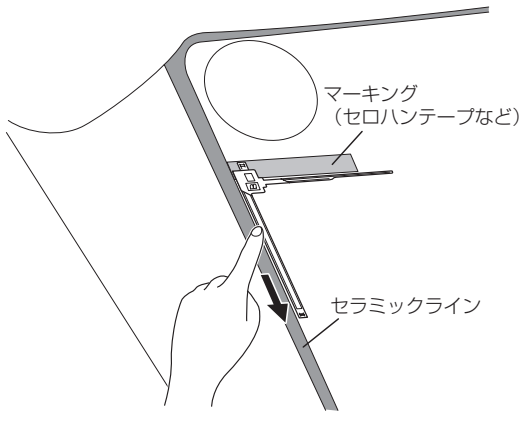
(2) Ⅰのタグを持ってエレメントからゆっくりとセパレータをはがす。

- セパレータを急にはがしたりエレメントを強く曲げたりするとエレメントが断線するおそれがあります。
  ※セパレータをはがしたあとは、のり面(エレメント色黒色の方側)に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。
  エレメントが貼り付かなくなります。
- 車内から文字(B)が読めることを確認してからマーキングに合わせて貼り付けてください。



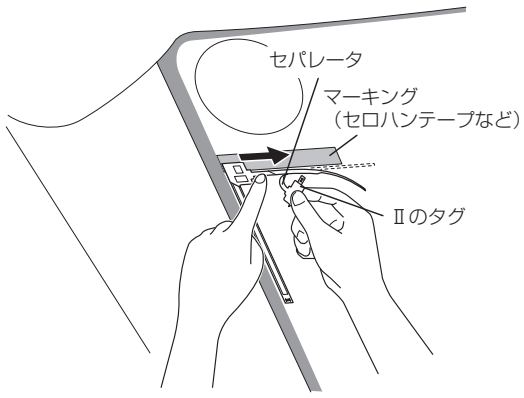
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。



2 (3) Ⅱのタグを持ってフィルムからゆっくりとセパレータをはがしながら横方向のエレメントを貼り付ける。

お願い Ⅱのセパレータをはがす際に途中で止めると、エレメント部に白濁が残ります。スムーズに加圧しながら貼り付けてください。

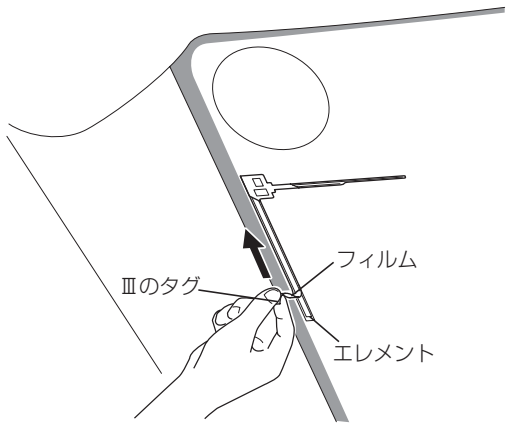


(4) 全面貼り付け後、エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残りやすいので念入りに加圧してください。
  ※加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。
- 加圧はエレメントを中心にしてください。
- フィルムをフロントガラスに貼り付けた状態で車外から貼付部に気泡が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。
- マーキングをはがしてください。

(5) Ⅲのタグを持ってフィルムをゆっくりとはがす。

- エレメントがフロントガラスに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。
  ※Ⅲのタグ以外のところよりはがさないでください。また、勢いよくはがさないでください。エレメントが断線する原因となります。
- Ⅲのタグからゆっくりとはがしてもフィルムと共にエレメントがはがれる(フロントガラスに転写されていない)場合は、再度フィルムをフロントガラスに貼り付け、エレメントを強くこすり直してください。
  ※フィルムをはがした後はエレメントの給電部にふれないでください。
  皮脂により給電部がさびて性能が低下するおそれがあります。
- 貼付完了後には柔らかい布等で上から押さえつけるように加圧してください。
  このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。

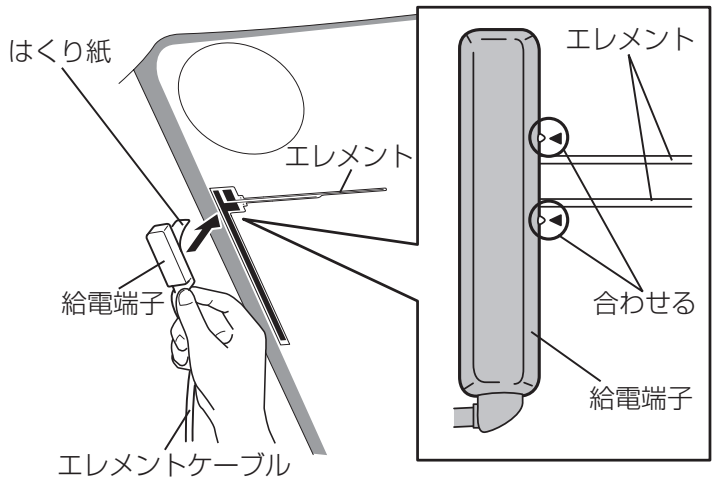


3 給電端子をエレメントに取り付ける

(1) エレメントケーブルの給電端子をエレメントの給電部に取り付ける。

- 給電端子のはくり紙をはがして、エレメントの給電部の▲印と給電端子の先端の突起部を合わせて取り付けます。

お願い エレメント(A)にエレメントケーブル(A)を、エレメント(B)にはエレメントケーブル(B)を、取り付けてください。

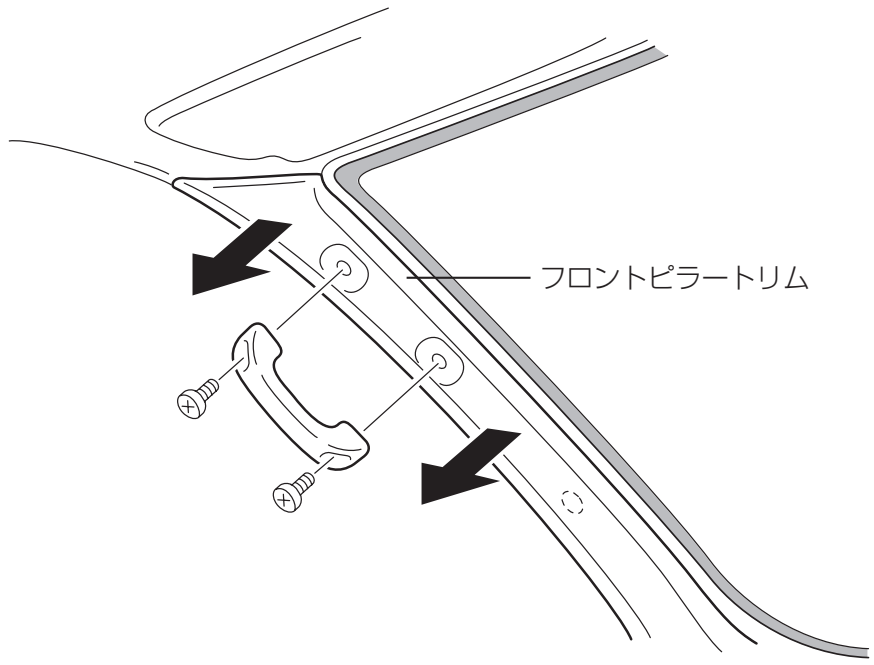


4 エレメントケーブルを配線する

■ **フロントピラートリムを外して配線する場合**

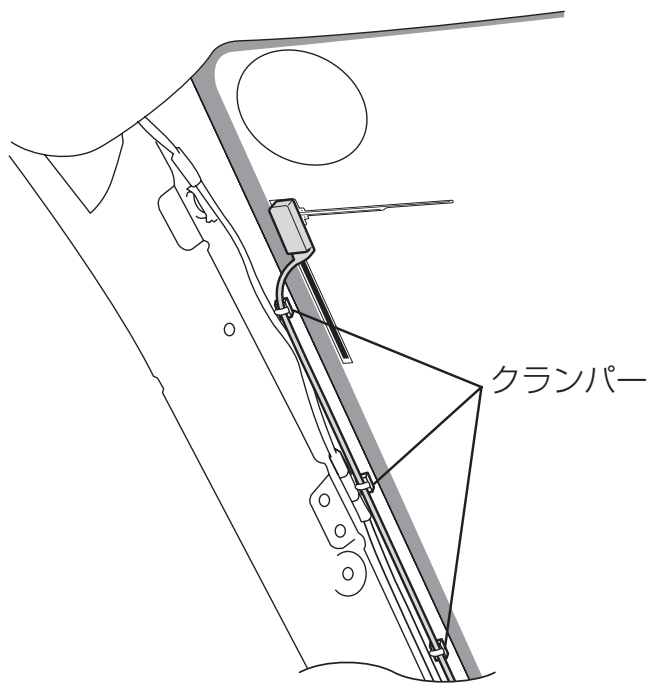
（1）フロントガラス横のフロントピラートリム（左）を取り外す。

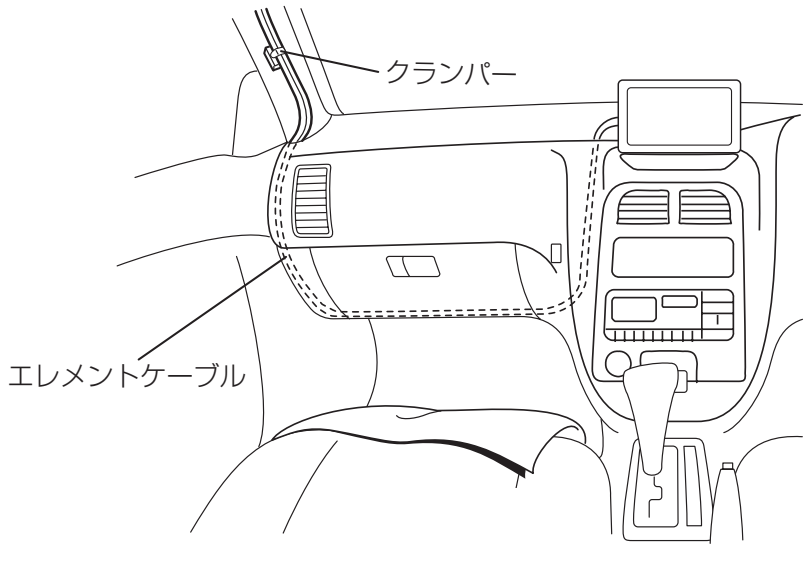
- フロントピラートリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。



（2）クランパーでエレメントケーブルを固定しながら配線する。

- フロントピラーを取り付ける際、コードをはさみ込まない位置に配線してください。



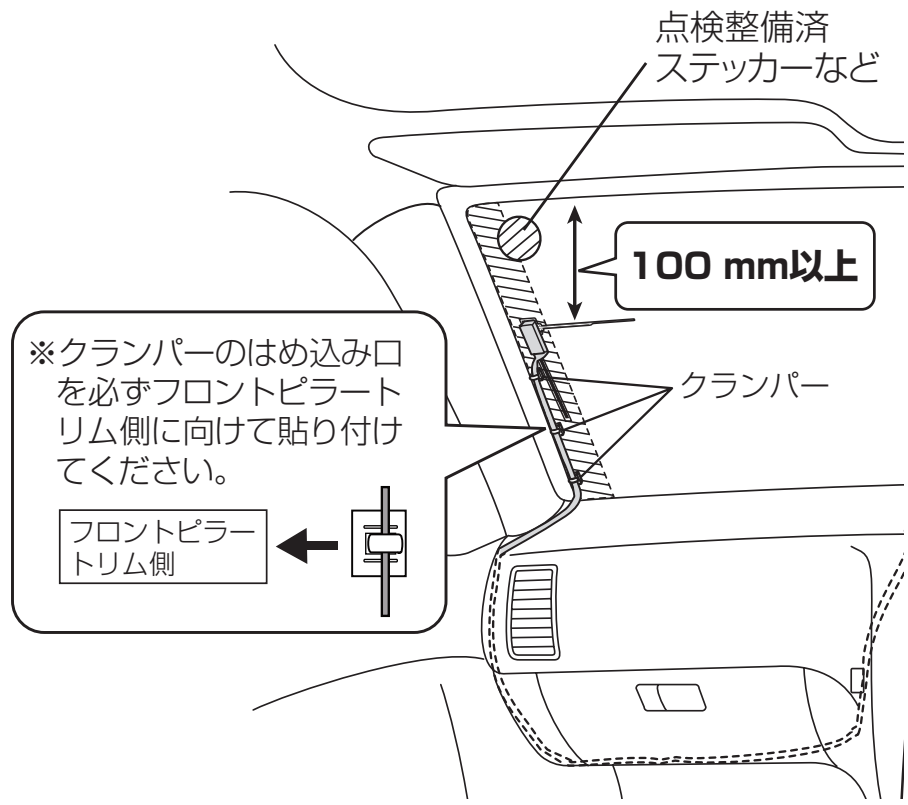


（3）内張りを元に戻す。

4 ■ フロントガラスに配線する場合

1. フロントピラートリムに沿ってエレメントケーブルを配線する

（1）クランパーでエレメントケーブルを固定しながら配線する。

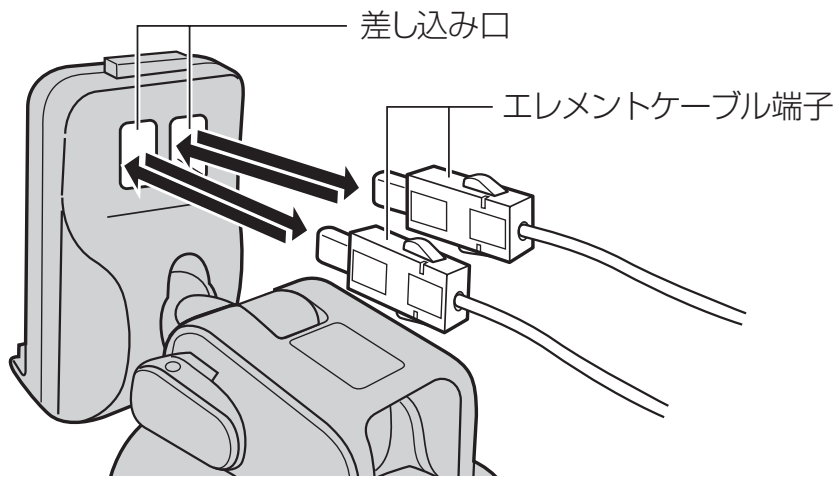


お願い
- フロントガラスにたるみがないよう貼り付けてください。
- クランパーは取り付けやすい位置にフロントガラスに沿って必ず外向きに貼り付けてください。

5 エレメントケーブル端子を取り付ける

取り付けかた

エレメントケーブルの端子をVICS内蔵車載用吸盤スタンドの差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込みます。
※エレメントケーブル（A）／（B）の違いはありませんので、どちらの差し込み口に接続しても差し支えありません。



※VICS内蔵車載用吸盤スタンドを取り付けたあと、エレメントケーブル端子を接続してください。

取り外しかた

エレメントケーブル端子のつまみを押しながら、取り外してください。

お願い
- エレメントケーブルの端子はショートさせないでください。
- 取り外す場合は、エレメントケーブルのコードを引っぱらないでください。